



よりよく生きる

～時を守り 場を清め 礼を尽くす～

発行 2025年(令和7年)4月

第1号

発行責任者 駅家中学校長

新入生を迎える 駅家中学校 のスタートです！

新入生の皆さん、
入学おめでとうございます

2年生、3年生の皆さん、
進級おめでとうございます

《学校教育目標》

「よりよく生きる力の育成」～自律と尊重～



今年度の新たに15名の教職員を、そして4月9日には新入生132名を迎えることになりました。生徒355名、教職員36名、総勢391名で駅家中学校の2025年度がスタートしました。

入学式では、学校教育目標の「よりよく生きる力の育成」、駅中三訓「時を守り 場を清め 礼を尽くす」、そして「主体性」の3点を新入生と在校生に話をしました。

「よりよく生きる力の育成」

変化の激しい社会という言葉が枕詞のように使われ、正解のない時代ともいわれているからこそ、自分の現状を客観的に認識し、社会や将来の状況に対応するために必要な力を身に付けて欲しいこと。また、成功や失敗を繰り返しながら、よりよい結果やよりよい人生を求めて、実践できる力を育てていきたいと考えています。

「駅中三訓」(時を守り 場を清め 礼を尽くす)

よりよく生きる力をつけるために…

■「時を守り」…時間を守る事だけでなく、どういう時なのかということも考えて行動できればよりよい時を過ごせるはずです。

■「場を清め」…行き届いた掃除をしようだけでなく、どういう場なのか、よりよい環境にするにどうすればいいか考え、実践すること。

■「礼を尽くす」…相手を尊重する、大切にするとは、どの様な状況か考え実践できる。さらにそれは、自分も大切にされるということにつながる事に気づいてほしいという思いもあります。

生徒の中には、アレルギーでそれが皮膚に付着するだけで命が危険にさらされる生徒があります。また、命を守るために必要な装置を身に付けておいたり、捕食をしなければならない生徒もいます。全ての生徒が相手の事を考えて行動できれば全ての生徒が安心して学校生活を送ることができます。当然いじめは起こらないはずです。

私たち教職員は、駅家中学校での生活だけでなく、卒業しても、大人になってもよりよい生き方をして欲しいと願っています。

「主体的な行動」

自分や仲間や集団としての目標を達成するために、自らの意志で（方法や協力等を「する」「しない」を決定する）行動することである。しかし、その判断は周りからも受け入れられることなのかも「よりよい」と繋がってきます。

また、始業式では生徒会長の児玉さんからは生徒会のテーマ「繋ぐ」の意味を学校生活と関連付け説明しました。生徒と教職員、地域、家庭が縦、横の「糸」としてうまくつながっていくことで「よりよい駅家中」を創っていくことにも繋がります。

これらの言葉をキーワードとして2025年度の駅家中がスタートします。

本年度もどうぞよろしくお願いします。

■2025年度 転入者が決定しました

【新・転入者紹介】

教頭(美)	中島 悠輔	(東中より)
教諭(国)	松浦 敬子	(三原市立第一中より)
教諭(社)	渡邊 順史	(城南中より)
教諭(美)	大野 芽依	(新規採用)
教諭(保育)	山本 純平	(幸千中より)
教諭(保育)	河原田 征世	(神辺中より)
教諭(家)	尾前 恵美	(鷹取中より)
教諭(英)	宮本 笠	(初任者)
教諭(英)	諫訪 慎吾	(福山中より)
教諭(国)	熊谷 美由紀	(非常勤)
教諭(音)	伊達 久恵	(非常勤)
看護介助員	柳田 明子	(駅家北小より)
拠点校指導教員	門田 剛年	(本務校:神辺中)
教科指導教員	松本 裕子	(非常勤)



【校長の独り言】

入学式から1週間が経ちました。

1年生は中学校生活が始まったわけですが、この1週間は身体測定や、各教科で初めて授業なので授業の受け方や約束事などの説明が多く、また、部活動の体験や中学校式の給食当番等、もう少し、通常の学校での生活リズムにはなっていません。

そんな中でも積極的に同級生に話しかけ、「友達ができた」という人もいれば、慣れるまでもう少し時間がかかりそうじゃなあと思っている人もいるかもしれません。

もう少し経って通常の授業や部活動が始まるころになると、新たな人間関係も広がり、生活リズムにも慣れてくることだと思います。

さて、2,3年生もクラス替えがあり新たなメンバーになりました。新たなクラスはどうでしょうか？

始業式では「よりよく…」の話と「手本になれ！」と話をしました。

ひと学年進級し、(あたりまえですが)下級生が増えたことにより、下級生から目標とされる学年になって欲しいと話をしました。

あれから1週間…。

校長室の上の階は3年生、その上は2年生ですが、休憩時間になるといろんな声が聞こえてきます(これも当たり前ですが)。しかし、休憩時間を過ごしているというには少し気になることがあります。

渡り廊下や教室前の廊下等あちらこちらから「キャー」という「奇声」や誰かを怒鳴る声が聞こえています。その度に「何が起きたんか？」と気になることがあります。危険な状況を周りに知らせる時などでしか必要ないと思うのですが、本当にそれが休憩時間必要なのか、どういう意図でそういう声を出しているのか気になります。(男子が多い)また、それを聴いている周りはどんな対応なんだろうかと気になっていました。

通常の学校生活で奇声を発する場面はそう多くないはずです。

今一度落ち着いた振舞を期待しています。

「場を清め」…掃除だけではありません。「礼を尽くす」ことをもう少し意識すると、よりよい環境になるんだなあと思っています。

